

IBM QRadar on Cloud

本「サービス記述書」は「クラウド・サービス」について規定するものです。該当する注文関連文書には、お客様の発注に関する価格の詳細情報および追加の詳細情報が記載されています。

1. クラウド・サービス

1.1 オファリング

お客様は、利用可能な以下のオファリングから選択することができます。

1.1.1 IBM QRadar on Cloud

IBM QRadar on Cloud オファリングは、IBM Security QRadar SIEM 製品に基づいて IBM クラウドから高度なセキュリティ・インテリジェンス・ソリューションを提供します。このオファリングにより、お客様は、オンプレミス環境およびクラウド環境から生成されるイベントの収集、相関関連付け、および保管ができるほか、オンプレミス上に展開された QRadar SIEM 製品で行われるとおりに、セキュリティおよび脅威管理を実行できます。当該オファリングの一部として、IBM は 1 日 24 時間 週 7 日体制でインフラストラクチャー・モニタリングを提供し、最新のソフトウェア・レベルのパッチまたは重要なパッチが提供された場合にはそれらを適用します。

本「クラウド・サービス」には、有効で検索可能な 90 日間のストレージが含まれており、「毎秒 100 イベント (EPS)」の数量単位で使用許諾されます。

1.2 オプション・サービス

1.2.1 IBM QRadar on Cloud Temporary Upgrade

ログ・イベントの収集と処理のための追加の 1,000 EPS キャパシティーを提供するサービス・アップグレード(ただし、一時的な月数に限られます。)。お客様はこのアップグレードについて、当該オファリングがサポートできる最大 EPS レベルを上限に、複数のユニットを購入できます。この部分は、当該年の間の「スパイク(急増)」時のカバレッジを必要とするお客様が、一時的にキャパシティーのアップグレードによりこれらの要件を満たせるようにすることを目的としています。当該期間の終了時点で、これらの一時的なキャパシティーの増分はお客様の環境から削除されます。

1.2.2 IBM QRadar on Cloud Data Capacity

データ容量アップグレードにより、追加的ストレージが追加され、分析期間が拡張されます。容量アップグレードにより、お客様は、100 EPS アップグレードの購入ごとに最大で 1 年間の保管イベント・データを入手できます。

1.2.3 IBM QRadar on Cloud Flows Add-On

IBM QRadar SIEM およびフロー・プロセッサと統合して、「レイヤー 3」ネットワークの可視性およびフロー分析を提供し、お客様がお客様のネットワーク全体のアクティビティーを検知、検出およびそれに対応できるようにします。

本「クラウド・サービス」には、有効で検索可能な 90 日間のストレージが含まれており、「毎分 10,000 フロー (FPM)」の数量単位で使用許諾されます。

1.2.4 IBM QRadar on Cloud Vulnerability Management Add-On

ネットワーク・デバイスおよびアプリケーションのセキュリティの脆弱性を事前に検知および発見し、コンテキストを追加して、修復アクティビティーおよび緩和アクティビティーの優先順位をサポートします。

1.2.5 IBM QRadar on Cloud Log Archival

お客様は、サブスクライブした期間中、「クラウド・サービス」からのイベント・データを保存できます。IBM はお客様と協力して、保存のためにオブジェクト・ストレージに指定されたイベントを書き込みます。お客様の要求を受けて、IBM はかかる要求から 3 営業日以内に、最大 30 日分の保存イベント・

データを、「クラウド・サービス」のお客様のインスタンスに再マウントします。かかるデータは、保存オブジェクト・ストレージに戻される前に、48 時間利用できます。お客様は、3 か月ごとに最大 2 回要求できます。容量アップグレードにより、お客様は、購入した 100 EPS アップグレードごとに最大で 1 年間の保管データを手に入れます。

1.2.6 IBM QRadar on Cloud Flows Add-On Data Capacity

データ容量アップグレードでは、10,000 FPM アップグレードの購入ごとに最大で 1 年間の保管フロー・データをお客様に提供することで、追加ストレージが追加され、分析期間が延長されます。

1.2.7 IBM QRadar on Cloud Flows Add-On Log Archival

このオファリングにより、お客様は、サブスクライブした期間中、「クラウド・サービス」からのフロー・データを保存できます。IBM はお客様と協力して、保存のためにオブジェクト・ストレージに指定されたフロー・レコードを書き込みます。お客様の要求を受けて、IBM はかかる要求から 3 営業日以内に、最大 30 日分の保存フロー・データを、「クラウド・サービス」のお客様のインスタンスに再マウントします。かかるデータは、保存オブジェクト・ストレージに戻される前に、48 時間利用できます。お客様は、3 か月ごとに最大 2 回要求できます。容量アップグレードにより、お客様は、10,000 FPM アップグレードの購入ごとに最大で 1 年間の保管データを手に入れます。

1.2.8 IBM QRadar on Cloud for Non-Production Environment

IBM QRadar on Cloud for Non-Production Environment オファリングは、「クラウド・サービス」の専用のテスト・インスタンスを提供します。このオファリングにより、お客様は、オンプレミス環境およびクラウド環境から生成されるイベントの収集、相関関連付け、および保管ができるほか、専用のテスト環境内のオンプレミス上に展開された QRadar SIEM 製品で行われるとおりに、セキュリティおよび脅威管理を実行できます。当該オファリングの一部として、IBM は 1 日 24 時間 週 7 日体制でインフラストラクチャー・モニタリングを提供し、最新のソフトウェア・レベルのパッチまたは重要なパッチが提供された場合にはそれらを適用します。お客様は、非実稼働のテスト目的でのみ、本「クラウド・サービス」を使用することができます。

本「クラウド・サービス」には、有効で検索可能な 90 日間のストレージが含まれます。

1.3 アクセラレーション・サービス

1.3.1 IBM QRadar on Cloud Optimization Service

このリモートで提供されるサブスクリプション・サービスについて、IBM はお客様とレビュー会議を実施して、お客様の「クラウド・サービス」インスタンスに関する現在の正常性を評価し、QRadar on Cloud ヘルス・ステータス・レポート経由でお客様に結果を提供します。このレポートでは、改善する領域がある場合には、それを指定します。

さらに、IBM はお客様の要求に応じて、1 年間に最大 8 日間、以下のコンサルティング・サービスをお客様に提供します。

- 「クラウド・サービス」に新たなログ・ソースを追加する際の支援。
- 追加の検索、レポートおよびダッシュボードの構成。
- 既存の QRadar 導入に対する追加チューニングの実施。
- 関連する QRadar 対象に関する知識移転の実行。

1.3.2 セットアップ・サービス

以下のセットアップ・サービスはリモートで提供されるもので、別途注文可能です。注文された各サービスは、すべての時間 (該当する場合) が使用されたかどうかに関係なく、別途記載のない限り、購入から 90 日後に失効します。サービスには、キックオフ電話会議のスケジュールを設定する指定された IBM Engagement Manager が含まれます。

a. IBM QRadar on Cloud Deployment Services

このサービスでは、40 時間のプロフェッショナル・サービスを提供します。このサービスの間、IBM は以下の一部または全部のサービスを実行します。

IBM は、お客様のレポート要件を定義するために最大 16 時間の SIEM アーキテクチャー・レビューを実施し、ソリューション・アーキテクチャー・レポートで所見をお客様に提供します。このレポートは、お客様の要件の定義と取り込みに役立つものになります。

このレポートには以下が含まれます。

- お客様の法令遵守、監査、セキュリティー・インテリジェンスに関する要件を満たすのに役立つ、お客様定義のレポート要件。
- IBM が実装を支援できるセキュリティー・インテリジェンス要件、ユース・ケース、およびアプリ (最大 10 件のユース・ケースと最大 2 個のアプリ)。
- ユース・ケースをサポートする必要がある、お客様のログおよびフロー・ソースに関する大まかな情報。
- ネットワーク・インフラストラクチャーに関する懸念事項 (ファイアウォールおよびポートなど)。

このソリューション・アーキテクチャー・レポートに基づいて、IBM は残余時間の許す限り、以下のタスクを実行します。

- 最大 10 のログ・ソース・タイプの最大 3 つのインスタンスに対してイベントのコレクションを構成します。このアクティビティーには、必要に応じてさらにログ・ソースを追加できるよう、お客様の関連担当者への知識移転が含まれます。標準の QRadar Device Support Modules (DSMs) でサポートされるログ・ソースのみが、本サービスの一部として含まれます。
- 初期チューニング。これには、a) すぐに使用できるルールのアクティブ化、節約された検索、時系列 (累積型) のグラフとレポート、b) ノイズの特定と削除、および c) NFS、CIFS、または iSCSI を経由したオフライン・ストレージの構成が含まれます。
- 10 件のユース・ケースと 2 個のアプリを、ソリューション・アーキテクチャー文書に記録された IBM QRadar App Exchange から実装します。

b. IBM QRadar on Cloud Custom Parser Service

このサービスでは、お客様の非標準のログ・ソース・タイプのうち、「クラウド・サービス」に送信されるものをサポートするために単一のカスタム・パーサー、カスタム uDSM を開発します。このサービスには、以下のタスクが含まれます。

- 1 つの非標準のログ・ソース・タイプ用にカスタム・パーサーを作成します (リモートで実行される作業)。
- uDSM を作成、構成、およびマッピングします。
- カスタム uDSM を導入してテストします。
- 当該ログ・ソースに対する最大 25 のメッセージ・タイプを解析します。

2. データ処理およびデータ保護に関するデータ・シート

IBM のデータ処理補足契約書 (<http://ibm.com/dpa> に公開。「DPA」)のほか、以下のリンクの「データ処理およびデータ保護に関するデータ・シート」(データ・シートまたは「DPA 別表」)にも、「クラウド・サービス」およびそのオプション (処理対象の「コンテンツ」の種類、対象となる処理活動、データ保護機能、および「コンテンツ」の保存および返却についての仕様に関連)に関する追加的なデータ保護情報が記載されています。DPA は、i) EU 一般データ保護規則 (EU/2016/679) (GDPR)、または ii) <http://www.ibm.com/dpa/dpl> に記載されているその他のデータ保護法が適用される場合に、その適用範囲に限り、「コンテンツ」に含まれる個人データに適用されます。

<https://www.ibm.com/software/reports/compatibility/clarity-reports/report/html/softwareReqsForProduct?deliverableId=FB0F42F0750011E6865BC3F213DB63F7>

3. サービス・レベルおよびテクニカル・サポート

3.1 サービス・レベル・アグリーメント

IBM は、以下の可用性のサービス・レベル・アグリーメント (以下「SLA」といいます。) をお客様に提供します。IBM は、下表のとおり、「クラウド・サービス」の累積的な可用性に基づき、適用しうる最大の補償を適用します。「可用性」は、契約月における分単位の総時間数から、契約月における「サービス・ダウン」の分単位の総時間数を差し引き、それを契約月における分単位の総時間数で除することにより算出され、結果はパーセントで表します。「サービス・ダウン」の定義、請求のプロセス、サービスの可用性の問題に関して IBM に連絡する方法については、IBM の「クラウド・サービス」のサポート・ハンドブック (https://www.ibm.com/software/support/saas_support_overview.html) に掲載されています。

可用性	クレジット (月額サブスクリプション料金のパーセント*)
99.9% 未満	2%
99.0% 未満	5%
95.0% 未満	10%

*サブスクリプション料金は、請求対象月に関して約定した料金です。

3.2 テクニカル・サポート

「クラウド・サービス」のテクニカル・サポート (サポート窓口の連絡先情報、重大度レベル、サポート利用可能時間、応答時間、その他のサポート情報およびサポート・プロセスなど) を参照するには、IBM サポート・ガイド (<https://www.ibm.com/support/home/pages/support-guide/>) の「クラウド・サービス」を選択します。

4. 料金

4.1 課金単位

「クラウド・サービス」の課金単位は、「個別契約書」に記載されます。

以下の課金単位が本「クラウド・サービス」に適用されます。

- 「エンゲージメント」とは、「クラウド・サービス」に関するプロフェッショナル・サービスまたはトレーニング・サービスです。
- 「1秒あたりのイベント」とは、「クラウド・サービス」が処理する、または「クラウド・サービス」の利用に関連する、特定のイベントの1秒あたりの発生回数をいいます。
- 「1秒あたりのフロー」とは、「クラウド・サービス」が管理または処理するフローの1秒あたりの数をいいます。「フロー」とは、2つのホスト間の通信記録です。同一のソース IP、宛先 IP、ソース・ポート、宛先ポート、およびプロトコルを含むパケットは、1つの「フロー」記録として結合されます。
- 「アセット」とは、「クラウド・サービス」がアクセスまたは管理する、一意に識別される価値のある有形のリソースまたは項目をいいます。

5. 追加条件

2019年1月1日より前に締結されるクラウド・サービス契約書 (または同等のクラウド基本契約) については、<https://www.ibm.com/acs> に掲載されている条件を適用します。

5.1 イネーブリング・ソフトウェア

「クラウド・サービス」には以下の「イネーブリング・ソフトウェア」が含まれます。

イネーブリング・ソフトウェア	適用されるライセンス条件 (ある場合)
データ・ゲートウェイ	お客様は「データ・ゲートウェイ」のコピーを最大10件インストールして使用することのみ可能です。

6. オーバーライド条件

6.1 データの利用

両当事者間の「クラウド・サービス」基本条件の「コンテンツおよびデータ保護」項にいかなる矛盾する規定があっても、以下の条件が優先します。IBM は、お客様の「クラウド・サービス」の利用によって生まれるお客様の「コンテンツ」に固有のものである結果 (以下「洞察」といいます。) や、お客様を特定できる結果を利用したり開示したりしません。ただし、IBM は、「クラウド・サービス」を改善する目的で「クラウド・サービス」の一部として、「コンテンツ」、および「コンテンツ」に由来するその他の情報 (「洞察」を除きます。) を使用します。IBM は、脅威の検知および保護の目的で「コンテンツ」に組み込まれた脅威 ID およびその他のセキュリティ情報も共有できます。